

# 情報ステーション しろやま

NO.  
28



## よみがえれ 宇都宮城 オープンセレモニーに参加



平成19年3月25日(日)市民待望の宇都宮城の一部復元工事が完了し、オープンセレモニーが盛大に行われました。

宇都宮市の各地区の内、特に宇都宮城とゆかりの深い4つの地区が招かれ完成を祝いました。清原地区(飛山城)、雀宮地区(雀宮宿)、富屋地区(徳次郎宿)そして国内最大級の山城(多気城)を有した当城山地区が招かれ参加致しました。

城山にある4つの小学校の児童及び保護者を中心に参加を呼びかけ約50名のみなさんがセレモニーに参加致しました。

午前11時、城山地区市民センターに集合し、全員揃いの法被(はっぴ)を着用し参加ムードの高まるころ、城山東小学校6年の林まどかさんによる力強い「エイ! エイ! オー」の出陣音頭で一層身が引き締まり会場に向かいました。

各地区ともに二荒山神社に集結し神事のあと宇都宮木遣り会を先頭に、真南に位置する宇都宮城へ向かいました。会場では、さまざまなイベントが行われ当日の記念日を盛り上げておりました。私達も隅々まで見学し江戸時代の立派な櫓の建築技術を始め感心することばかりでした。又、秋田県横手市の名物「やきそば」のコーナーがあり「どういう関係?」とお伺いしますと、現在の宇都宮市街の骨格を作ったとされる第28代城主本多正純(1619-1622)の終焉の地が横手市であり姉妹都市の関係でコーナーが設けてあるとのことでした。(勉強になりました)

セレモニーも終了し午後3時帰路につきましたが、県内外のお友達等を連れて行きたいスポットです。宇都宮城については、宇都宮市文化財解説ボランティアが常駐して解説されるそうです。みなさんも是非、足を運んで見てください。

記事担当 太田光彦





## 古賀志山火災始末記

皆さんもご存知の通り、去る2月5日に発生した古賀志山火災では、残念ながら約7haの面積を焼失してしまいました。このたび、消火活動に尽力され、再発防止に向けて宇都宮市西消防署副署長別井さん、古賀志町自治会長北条さんから現場の声をお聴きしました。

### ※ 発生から鎮火まで(ドキュメント)

- 平成19年2月5日(月)午前5時57分、地元住民の「煙が上がっている」との通報により、直ちに緊急出動。火災の状況から現地対策本部を設置。
- 同日、栃木県消防防災航空隊への出動要請。空中消火のため隣県の茨城他3県の応援を得て、5県の航空隊による消火活動を開始。しかし、各県の火災等により帰還されたため、防衛省(自衛隊)への派遣要請に至り、消火活動を継続。
- 山林火災の鎮火は、堆積した落ち葉が燻ぶり、再燃が生ずる場合もあるため、消防隊員の現地調査のうえ収束。
- 平成19年2月8日(木)午後3時55分鎮圧宣言。
- 平成19年2月11日(日)午後0時40分鎮火宣言。

### ※ 「赤川ダム」の好立地、好水利

- 近くにある赤川ダム貯水が空中消火活動に大きく貢献しました。



### ※ ヘリコプターの出動回数は・・・

- 防災ヘリ115回、自衛隊ヘリ373回、計488回の給水(1機1回の給水量約4.5トン。小学校プール約5杯分に換算されます。)

### ※ 発生原因は・・・?

- 特定できず調査中です。

### ※ 地元自治会・自衛隊・消防・行政職員の連携を再認識しました。

- 逼迫した状況で懸命な消火活動が展開されました。更に、自衛隊員や消防団員、消防士は非常食を携帯していますが、寒中活動での交代時に連合自治会防災会や地元自治会等の炊き出し、豚汁は体が温まり「よし!! 頑張るぞ」の気持ちとなり大変感謝されました。
- 行政職員の方々も本庁等への連絡・諸活動に尽力されました。



### ※ 再発防止への活動と呼びかけ!

- 古賀志山は年間約25万人の入山利用者がいます。地元消防団(OB含む)のパトロール活動や林道へ小学校児童のポスター掲示、地元城山分署の春・ゴールデンウィーク・秋の季節による呼びかけパトロール等を実施しています。

### ※ 教訓と課題

1. 災害及び活動の長期化など考えると、地区全体での取り組みの強化が必要ではないでしょうか。
2. 状況が的確に伝えられる方法の再考が求められるようです。

城山地域の山々は、自然が与えてくれた財産です。環境問題を考える中、「二度と起こしてはならない火災事故」ですが、「さまざまな人々の連携で事故を最小限に食い止めることが出来た事」に感動しました。ご協力ありがとうございました。



## 城山地区防災訓練が実施されました。



平成18年度城山地区防災訓練が、災害時に避難所となる明保小学校を会場に、小学校区域内の5自治会（西の宮、野尻、長坂、下飯田、金沢の各自治会）を中心として、1月28日に実施されました。

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災から早や12年、その体験談や教訓等を音や映像で学ぶビデオ研修から訓練はスタート。有事の際には、家族や隣人、地域の人々の助け合いが必要不可欠であり、普段からの心がけが大切であ

ることを再確認しました。

続いて、起震車による地震体験、初期消火訓練、煙体験、応急救護訓練等を班ごとに実施、小学生児童を含めた約350人に及ぶ参加者が、真剣な訓練を繰りひろげました。

また、道路やライフライン等の崩壊を想定した徒歩による避難訓練（徒歩による会場への集合）も行われるなど、より現実的なメニューを展開することができ、大きな成果となりました。

## 防犯標語コンクールが開催されました

平成19年2月19日、宇都宮中央地区防犯協会城山支部主催の平成18年度防犯標語コンクールが開催され、地区内の駐在所長さんや防犯母の会会長さんなど11名の審査員による厳正な審査の結果、下記の城山中学校の皆さんが入選いたしました。

これらの標語は、一人一人が防犯に対する意識を高め、犯罪を未然に防ぐため、地区内の各ご家庭に配布いたしました。目につく場所に貼るなどして、普段からの心がけを大切にしましょう。

最優秀賞	地域でね 追放するんだ 不審者を	城山中学校1年	阿部 将之さん
優秀賞	「大丈夫」そんな気持ちで 危険だよ	城山中学校1年	伴 彩奈さん
優秀賞	不審者は いつでもきみを 狙ってる	城山中学校1年	太田 篤志さん
優秀賞	犯罪は 知ってるだけでは ふせげない	城山中学校1年	石井 貴大さん
佳作	ひそんでる 危険なサイトにご注意を	城山中学校1年	石川 梨紗さん
佳作	伝えよう 親に一言 行き先を	城山中学校1年	黒田 亜唯さん
佳作	笑顔でも 一歩後ろに 悪がある	城山中学校1年	吉澤 鳳優さん
佳作	しのびよる 影に気付いて 助け呼ぶ!	城山中学校1年	奥村 淳美さん



## 下野ふるさと大賞受賞

### とちぎ地産地消費大賞受賞

城山西小学校では、児童数の減少により平成17年度から5年間で複式を解消できない場合は、隣接校に統廃合するという答申を受けました。そこで、学校と地域とが連携をして、特色ある学校づくりと魅力ある地域づくりに取り組んでいます。その中で「城山西小学校と地域振興を考える会」は、地域内の各種団体の総力を結集し、行事や地域活動の中心に必ず子どもを据えた事業を推進しています。そして、地域をあげた孝子桜祭り、古賀志山清掃登山、地域合同運動会などの学校を支援する事業が拡がりを見せていることから、地域の活性化に取り組む団体や個人を表彰する「下野ふるさと大賞」に89団体の中から大賞に選ばれました。

また、地産地消費大賞は、「ふるさとの味と心を子どもたちに」をテーマに安全でおいしい給食を児童募集の公約の一つとして、地域やPTAの全面的な支援を受けて実施していることから受賞しました。低農薬や有機肥料にこだわった野菜や果物の購入、地域の老人会による給食農園での給食のための野菜作り、田植えや稲刈りなどの農業体験を行っています。また、郷土食である耳うどんの給食への導入や多彩な給食メニューの開発により地産地消費を推進し、児童の食育に積極的に生かしています。

この度の受賞を契機に、さらに、地域と学校と連携を図りながら、地域の魅力化を図ってまいりたいと考えております。



## 城山卓球クラブジュニア

城山卓球クラブJrは昭和56年10月に城山西小学校の体育館落成に合わせ、PTAが子供達を集め設立して、たまたま私が中学時代に卓球の経験があり、コーチとして協力することになり、今日まで係わることになりました。

当時、元世界チャンピオンの伊藤繁雄選手と今は故人の長谷川信彦選手が、体育館の柿落としをして、子供達に夢と希望を与えて頂きました。

でも初めは、試合に出場しても勝つ事はなかなかできず、週3回の練習を6回に倍増して選手達も勝つ自信ができるようになり、今では関東、全日本の大会では栃木に城山ありの看板ができました。

それを聞きつけ、今話題の泣き虫アイちゃんこと福原愛選手が来たり、全国各地から練習方法や講習会の依頼が寄せられます。

小学生の時、個人の全日本チャンピオンホープス女子、藤沼亜衣選手、平野早矢香選手、杉田早苗選手、駒場義久選手など7回の優勝と団体戦でも全国で7回優勝をすることができました。

選手達には、最初は卓球を好きになり、興味を持たせることと、勝つ喜びを味わってもらうことを大事にして、長い目で育てることをします。選手達も10人10色ですから、いろいろなパターンの練習をさせます。ともかく、子供達には練習をあきらめない、より一層勝つことに闘争心を植付けるよう指導します。

毎日がこの様な練習ですが、選手達も1日1日頑張っていますので、今後の応援を宜しくお願い致します。最後に、成せば成る断じて1位に！

城山卓球クラブジュニア 会主兼監督 大貫重雄

# 各種団体紹介



## ○ 老人クラブ（単位老人会への加入のお願い） ○

城山老人クラブ連合会は、平成19年1月現在、自治会ごとに結成された17老人クラブ(会員数870名)の連合団体です。次の様な行事を行っています。

スポーツ大会（10月実施）

演芸大会（12月開催）

ふるさと史跡めぐり(2月頃)

ゲートボール

グランドゴルフ

輪投げ

ペタンク等



個人と団体の競技会も行っています。交通安全友愛活動、学童生徒の登下校見守り活動も行っています。自治会ごとの単位クラブでは、温泉旅行、芝居見物なども実施しております。

しかし、会員の高齢化、若年層の未加入、役員のみ手がない等で、毎年会員の減少がみられます。

私たち、老人クラブは、地域交流を通じて経験を生かし、社会に役立つよう頑張っています。老人クラブ未組織の自治会のクラブ結成と、未加入者の新加入を心からみんなでお待ちしています。

城山老人クラブの単位老人会の現況は次のとおりです。

- |        |          |        |        |       |         |
|--------|----------|--------|--------|-------|---------|
| 荒針寿楽会  | 立岩建友会    | 瓦作喜楽会  | 大谷楽友会  | 野尻麗老会 | 長坂長寿会   |
| 西駒生鶴亀会 | 東駒生東友会   | 上駒生長寿会 | 田下気楽会  | 田野長寿会 | 上中福岡福寿会 |
| 下福岡福寿会 | 古賀志こざくら会 | 下飯田長寿会 | 西の宮農悠会 | 羽下千才会 |         |

## ○ 「城山女性の会」にご加入いただけませんか ○



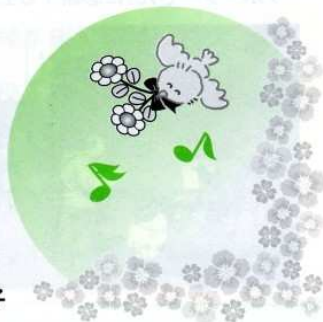
私達、城山女性の会は、平成6年7月3日（日）、コミュニティ協議会のご支援を頂き、当時の城山地区にあった女性の九団体の代表者が集まり、慎重に協議を重ねた上で、女性の地位向上と社会参加の促進を図ることを目的に設立されました。

以来、7月の第一日曜日を城山女性の日と設定し、会員相互の親睦と交流を深めるために、毎年記念講演会を開催しております。

また、勉強会も、年1回行っています。そのほか地域に根ざした活動として、地区体育祭、文化祭、フェスタin大谷等、地域の事業にも協力しております。そして市民センターの花壇づくりと管理をしています。

この何年かは様々な理由で会員が減少傾向にあります。どうぞ多くの皆様のご加入をお待ちしております。

代表 赤荻信子



# 地域学校の安全対策

## 城山中学校

平成18年度今年度の生徒の生活環境に関わる安全対策について本校の取組を紹介します。

- 携帯電話の正しい使い方について 全校朝会等で呼びかけ(9/20)
- 防犯ベルの所持について 所持数の調査と貸し出し(10/16)
- 薬物乱用防止啓発演劇の上演(6/13) 県保健福祉部薬務課との連携
- 不審者対策防犯訓練(11/8) 職員向けの「さすまた」の使い方演習
- いじめ対策 いじめに関するアンケートの実施とそれに伴う教育相談の実施(11/21~11/30)
- 朝の交通指導 毎月15日、職員と保護者による実施
- 特別補導 生活指導部・市補導センター共催による年末・年始、年度末・年度始めに実施
- 生徒会から全校生徒への呼びかけ 夏・冬・春休み中の生徒の過ごし方について  
毎日帰りの放送による安全下校の呼びかけ(ヘルメット着用、交通ルールの遵守等)  
地区内で本校生徒を見かける機会が多いかと思ます。善い行いがあれば生徒の励みになりますのでお知らせ下さい。また、目にあまる行為がありましたら遠慮なく、その場でご指導いただきますようお願い申し上げます。地域ぐるみでの生徒の指導に今後も、ご協力よろしくお願いたします。



## 城山中央小学校

平成18年度も学校・保護者・地域の方々と児童の安全を守る活動を継続実施し、次のような取り組みを行いました。

### ●教職員対象の取組み

- (1) 防犯教室(7月10日)を実施した。警察スクールサポーター、スクールガードリーダーを講師に講話とVTR「不審者に対する危険予測の仕方、危険回避の方法」を視聴した。
- (2) 不審者対応の避難訓練(1月17日)を実施した。警察スクールサポーター、スクールガードリーダーを講師に、学校に侵入した不審者を想定し、「さすまた」を使った実戦訓練を実施した。  
※防犯訓練については、2月2日に、子どもの家(留守家庭児童会)でも実施した。
- (3) 教職員やスクールガードリーダーによる通学路の点検を実施した。
- (4) スクールガードリーダーのご指導で危機管理マニュアルを見直した。
- (5) 学校や子どもの様子を「学校だより」「PTA広報」「学年だより」等で保護者に、回覧等で自治会に知らせた。  
※下校時刻が変わる時は、月単位で保護者や自治会(回覧)に知らせた。
- (6) 下校は、全学年一斉下校、又は、学年下校を実施した。
- (7) 校舎2階壁面に「緊急警報装置」を設置し、使用方法を研修した。



### ●児童対象の取組み

- (1) 児童による「地域安全マップ」を実際に危険箇所を確認し作成した。
- (2) 児童会主催、「交通指導員さん、まごころサポーターさん」に感謝する会を実施した。



### ●地域の方々の取組み

- (1) 「まごころサポーター」(学校安全ボランティア)さんが登・下校を児童と一緒にしてくださった。また、下校時、見守りボランティアの方に家の近くに出て見守っていただいた。
- (2) 田野地区に新たに防犯灯を2基設置していただいた。これからも児童が安全・安心に学校生活ができますよう、可能な限り児童の登校・下校時刻に合わせて、学区内の散歩やパトロールをお願いいたします。また、子どもたちにさわやかなあいさつができるように指導しておりますのでご指導、ご支援を重ねてお願いいたします。

## 城山西小学校

本校は小規模特認校のため、放課後は、全児童が放課後活動施設『こがし桜スクール』を利用しています。この施設は、午後7時まで開設しており、児童は乗用車による保護者同伴での下校となっています。これは同時に保護者による地区内巡視の役目も果たしています。

学校としては、全児童参加で6月に『不審者出没に伴う避難訓練』、12月には、警察サポーターをお招きして『防犯教室』を実施しました。また、本校のスクールサポーターとの防犯に関する職員研修として、7月には地区内の安全点検、10月には日光市立大沢小学校の少女誘拐事件現場視察、2月には鹿沼市内の大型デパートにて、防犯の実態について研修しました。(下写真参照)



(安全点検中)



(大沢小付近)



(デパートにて)

平成19年度は、学校の時間だけではなく、こがし桜スクールの放課後活動時にも、防犯訓練を実施したいと思います。

## 城山東小学校

「地域の子もたちは地域で育てよう」をスローガンに、城山東学区安全協議会が発足し1年が経過しました。防犯ボランティアの皆様には、子どもたちが転んだ時、家まで送っていただいたり、危ない遊びをした時、注意していただいたりしました。さらに、眼鏡橋や通学路の脇にある大谷石の危険性を指摘していただき、自治会を中心に、大谷石を整備して下さったり、柵を作っていたりしました。



多くの保護者の方々も登下校の見守りをして下さり、東駒生地区は、毎朝当番を決め交通量の多い大谷街道の交通指導をして下さっています。

子どもたちの安全を守り、健全育成を図るために活動して下さる地域の大きな教育力を感じた1年間でした。これからも、学校生活はもちろん、帰宅途中や下校後の過ごし方についても、学校と保護者と地域が互いに連携を図り、無理なく長く続けられる対策が求められています。多くの皆様に、子どもたちの様子を見ていただき、ご意見・ご指導よろしくお願いたします。

## 明保小学校

本校では、保護者や地域の皆様の暖かいご協力をいただき、下記のような児童の安全対策を行っています。今後ともご協力よろしくお願いたします。

### 1 学校では

- 登校時は集団登校、下校時は、複数学年の集団下校または全学年の一斉下校を実施しています。(1年生のみで下校する木曜日は、保護者の当番制による付添い下校。)
- 「子ども110番の家」の再登録及び新規募集を実施し、136件の方からご協力をいただきました。
- 防犯週間を設置し、不審者対応の避難訓練や防犯教室を実施しました。
- 総合的な学習の時間で4年生が防犯マップ作りに取り組み、全校生に知らせました。
- 教員の研修で、「さすまた」の使い方等の護身術の講習を受けました。

### 2 保護者は

- 平成18年6月から、保護者による「愛・eyeパトロール」を開始しました。学区内を5つのコースに分けて、毎週金曜日の下校時に、当番制でパトロールしています。

### 3 地域では

- 約190名の地域ボランティアの皆様が、登下校時に立哨または付添いによる見守り活動を続けて下さっています。
- 2月19日に、平成17年度の12月から今年度にかけて児童の見守り活動でお世話になった皆様や、今年度学習活動等でお世話になった皆様に招待して開催し、歌や演技の披露、お礼の手紙やプレゼントの贈呈等により、感謝の意をお伝えしました。



※「感謝の集い」開催



写真は、古賀志自治会で行う風祭り、組み立てた天棚の回りを村人総出でセンドガケをしているところ。

## 古賀志の風祭り(天祭)は四月です。

この地域での風除けを祈願するお祭りは「風祭り」または「天祭・てんさい」(お天祭)と呼ばれています。神主さんと氏子の代表(祭長または行人様といいます)が祭りの中心になります。よその地域では、210日か220日の台風の被害が少なくお米が沢山とれますよというのがその祭礼の主な目的です。江戸時代では、この「古賀志地区」では、大麻(あさ)を栽培してまして、4月に種をまくと7月には刈り取りの時期になるという短い期間が勝負でした。発芽したばかりに風が吹くと、もう麻は育ちません。そのため四月早々の時期に風がいたずらしませんようにと、風除けの願いをしたのです。

山車から車を取った形のものが天棚です。お祭りをするたびに「天棚」を組み立てます。県内には200箇所以上で風祭りが行われました。平成9年ごろ市の教育委員会で調査したときには屋台と天棚をあわせると62台(内天棚は41台)でした。屋台と天棚の共通点は①二階建て②二階は神様が「行人」が乗る。③一階は囃し方が乗る。芳賀とか今市・大田原の一部とここ古賀志でもこの二階よりさらに5メートルもたかく「梵天」をつくり、くくりつけます。ここを神様に降りてきてもらう目印にするためでした。梵天だけを奉納するところは、市域にある二つの「羽黒山神社」です。

梵天は、日天と月天に御降臨頂くためには目印として欠かせないものでした。現在、風祭りでは、お祭りの先導をする「行人」の役の人が短い「梵天」を手をもって行進します。戦前は毎年開催され、そのお祭りも必ず三日間おこなわれる大きなお祭りでした。現在は、この開催の間隔も二年に一回(古賀志など)三年に一度(野尻・長坂地区)となり、その主催団体も3~4団体しかありません。※今年の古賀志の天祭は、4月8日の第二日曜日に開催されました。

宇都宮市文化財解説・観光ガイド 永森 庄二

### 城山地区ホームページが楽しい!

毎月更新されている城山地区のホームページはご覧になったことがありますか?

城山の楽しい情報満載ですので、是非、アクセスしてくださいね。

【ホームページアドレス】 <http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>



### 編集後記

**ご紹介!** 現在、古賀志町に在住している安嶋一典さんが、企画・編集に参加されました。「仕事上あなたにピッタリヨ」と奥様から、後押しされたそうです。活気あふれる広報部を目指します。どうぞ宜しくお願いします。

**古賀志山火事に学んだことは、** 自然に恵まれた環境を壊すことなく大切に保全することが願いであり、また、安全で安心に暮らせる町づくりの第一歩は、「ひとり、ひとりの思いやりの心」であると私は、信じています。

編集 平井

### 「情報ステーションしろやま」の企画編集員・通信員を募集しています

城山地区コミュニティ協議会が発行している当紙「情報ステーションしろやま」の編集作業や記事の取材などを手伝っていただけるスタッフを募集しています。年齢・経験等は不問です。是非、ご連絡ください。

問い合わせ先：城山地区市民センター内  
「情報ステーション しろやま」担当まで



**おわび** 1月に発行した情報誌一面の城山地区不法投棄監視パトロールの写真は、別のボランティア団体が集めたゴミの状況を撮影したものです。説明文が誤解を招く記載となっていましたので、おわびいたします。

### 城山地区の人口(平成19年3月末日現在)

- 総世帯数 8,773世帯 ● 総人口 23,248人
- 男：11,489人 女：11,759人



編集・発行

城山地区コミュニティ協議会

〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5  
宇都宮市城山地区市民センター内  
TEL 028-652-4794 FAX 028-652-5570

